

6月30日号（2022年6月23日発売）



**弁護士 高宮 隆吉** (たかみや りゅうきち)

昭和49年生まれ・東京都港区出身  
平成19年 中央大学法科大学院卒業  
同年 司法試験合格  
平成20年 弁護士登録（神奈川県弁護士会所属）  
平成22年～26年 関東学院大学法科大学院  
アカデミックアドバイザー  
平成24年8月 藤沢市南藤沢に、藤沢ラグーン法律事務所を設立  
平成27年5月 法人化に伴い、名称を「弁護士法人湘南LAGOON」に変更  
平成27年～現在 神奈川県宅建協会湘南支部 顧問

**法律の知識と寄り添う心で  
依頼者に「生きる力」を**

弁護士は法的な見解を出すだけが仕事ではなく、徹頭徹尾、依頼者が望む最高の結果を目指すべき。平成24年8月、藤沢市に「弁護士法人湘南LAGOON」を設立した高宮隆吉弁護士は、大学卒業時点では法律とはまったく縁がなかったといふ。30代で司法試験にパスし、「いまや湘南を代表する法律事務所へと育て上げた背景には、生涯忘れられない『原体験』があった」。

**ある日突然、生活が一変  
企業倒産の現場で見たものは**

人は誰しも心の中に「原風景」を秘めている。物事の感じ方や考え方の起点として人生に色濃く影響するが、高宮弁護士のそれはまさしく、人生に色濃く影響する。

さに「原点」そのもの。大学を卒業し、一般企業に入社したわずか3ヶ月ほど後、父親が経営していた会社が破綻。所有していた東京・青山のビル内の住まいには、突然、許可なく雑多な人々が出入りするようになった。

さに「原点」そのもの。大学を卒業し、一般企業に入社したわずか3ヶ月ほど後、父親が経営していた会社が破綻。所有していた東京・青山のビル内の住まいには、突然、許可なく雑多な人々が出入りするようになった。

3月後半、藤沢ラグーン法律事務所は数件のみだったという藤沢市を選び、現在の事務所を開設する。

エリート街道どころか茨の道を歩んだ高宮弁護士は、活動姿勢が鮮明だ。現在、事務所は40社以上と顧問契約を締結しているが、それとは別に宅建協会湘南支部に所

**記事の  
リンクを  
WEBで公開中！**

# 週刊新潮

6月30日号  
440円

昭和31年2月20日第三種郵便物認可 令和4年6月30日発行(6月23日発行)第67巻第25号

25